

Web 会議システムを利用した「電子マニフェスト導入実務説明会」の開催について

1. Web 開催について

JW センターでは、電子マニフェストの普及を目的に、「電子マニフェスト導入実務説明会」を毎年開催している。令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度に引き続きWeb 会議システムを利用しオンラインにより実施した。オンライン開催も2年目となり、申込みや開催前の接続テスト、そして当日のWeb 説明会の受講についてもスムーズに実施することができた。

2. 導入実務説明会の開催概要

令和3年度からは、従来の排出事業者、処理業者を対象にした説明会のほか、建設業者を対象にした説明会を新たに設け、開催をした。

①開催数及び参加者数（センター事業2回、環境省事業37回）

- ・排出事業者向け：21回 参加者数 1,651人
- ・処理業者向け：7回 参加者数 403人
- ・建設業者向け：11回 参加者数 631人

②講義内容 [13:30～15:00（質疑応答10分程度）]

- ・電子マニフェストのメリットと特徴、導入までの準備・手続き
- ・マニフェストの登録機能・照会機能、運搬、処分の終了報告機能
- ・処理業者向けには収集運搬業者が排出事業者のマニフェスト登録を支援する「現場登録支援機能」※を追加
- ・建設業者向けには排出事業場が頻繁に変わったり、下請け工事では運搬業者の立場になったりするなど、建設業の特徴を踏まえた電子マニフェストの加入・利用や公共工事における廃棄物処理実績証明についてを追加

※「現場登録支援機能」

現場登録支援機能とは収集運搬業者の支援を得て、排出事業者が電子マニフェストを現場で登録することを可能にする機能です。

<運用>

- ①収集運搬業者が事務所で運搬予定のマニフェストを仮登録する。
- ②収集運搬業者が排出事業場で、仮登録した情報をスマホで呼び出し、廃棄物の数量を入力する。
- ③排出事業者が収集運搬業者のスマホでマニフェスト内容を確認し、暗証番号を使って登録する。

3. アンケート結果〈参加者の声〉

- ・Web 開催のため、気軽に参加することができました。
- ・説明内容は大変わかりやすかったですが、説明内容を動画配信していただけると、好きな時に視聴できるので検討していただきたい。
- ・説明はわかりやすかったが、システムの操作説明をもっと聞きたかったです。実際に操作ができるセミナーの開催も希望します。

4. 今後の課題

令和3年度は、事前に説明内容を録画し、ライブ配信する形式で実施した。説明会の最後に、チャットによる質疑応答に対応することが可能であり、参加者からは評価を得ているが、一部利便性の観点から、説明ビデオの動画配信を希望する声もあり、30分程度に編集したビデオをホームページ公開 (<https://www.jwnet.or.jp/jwnet/practice/material/dvd/index.html>) した。今後もニーズに合った内容、構成を検討しより良い説明会を実施していく。

